



令和4年5月1日発行

第66号

ながわまち 議会だより

● 長和町議会 令和4年3月定例会

◇ 町長提案理由の説明	2
◇ 令和4年度予算	3
◇ 予算特別委員会審査報告	6
◇ 常任委員会審査報告	9
◇ 一般質問	12
◇ 議会だよりモニター	21
◇ 一部事務組合議会報告	22
◇ 長和町「あの人を訪ねて」	24

★ 春：中山道和田峠接待「永代人馬施行所」★

(22ページに写真の説明を掲載しています。)

■ 発行／長野県小県郡長和町議会 ■

■ 編集／広報常任委員会 ■

3月議会

長和町議会 令和4年3月第1回定例会が、長和町役場議場に於いて、2月25日(金)から3月18日(金)までの22日間の会期で開かれ、報告5件、発議2件、承認1件、条例案9件、令和4年度予算案10件、令和3年度補正予算案9件、指定管理者の指定について4件、人事案2件、その他2件について審議されました。

また、8人の議員が一般質問を行いました。

町長提案理由の説明

公約に掲げた施策を実現するため、
真心を込めたまちづくりを推進します



4月までに3回目のワクチン接種を終了します

猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、年明け頃から第6波といわれる今までにない急激な感染拡大を引き起こし、現在主流となっているオミクロン株は重症化するリスクは低いと言われるものの感染力が強く、その広がり方は報道等で伝えられているとおりです。

県内でも全県を対象に1月27日から2月20日までの間、全ての圏域について感染警戒レベルを6とし「まん延防止等重点措置」が講じられ、さらに3月6日まで2週間の延長措置がとられました。町内でも、年明け後職員1名を含む10名の方の感染確認がありました。幸い順調に回復され、町内での感染拡大はありませんでした。

持続可能な長和町の発展に繋がる予算編成に

令和4年度予算編成の基
本方針について。

日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が甚大であり、これまでに経験したことのない正に未曾有の国難とも言えます。厳しい状況下では

上の対象者の接種を終了させたいと考えております。

第6波対応事業者支援交付金事業を実施しました

承認第1号「専決処分した令和3年度長和町一般会計補正予算(第11号)」について。現在の最優先課題と

言える新型コロナウイルス感染症関連事業で、緊急経済対策事業として、第6波対応事業者支援交付金事業に係る経費1700万円について専決処分を行ったもので、財源は県支出金を充てております。

ありますが、5期目初年度となる令和4年度の当初予算については、『Nagawa Next Vision V』に掲げた施策を推進していくため「至誠天に通ず」の如き真心を込めて、まちづくりを推進してまいります。8つの宣言、101の約束を確実に着実に実行・実現できるよう、何より町に住む皆さまがしあわせを感じることができるよう、「防災・減災・コロナに負けない」を合言葉に各施策を進め、かつ将来にわたって希望と期待を抱き、安定した持続可能な長和町の発展に繋がるような予算としました。また、支出を抑えつつ住民サービスに直結する事業に工夫しながら取り組んでいく予算案とし、一般会計予算では新型コロナウイルス感染症について、ワクチン接種の推進を基軸に、関連する支援などに積極的に取り組みます。

(抜粋)

令和4年度 予算

一般会計 59億2,000万円

令和4年度一般会計・特別会計予算を可決しました！

町のお金はどんな事業に使われる？

特別会計 21億922万円

令和4年度 長和町会計別予算額

会 計 名	4年度予算額	3年度予算額	増減額
一般会計	59億2,000万円	61億1,300万円	△1億9,300万円
国民健康保険特別会計	8億800万円	7億6,900万円	3,900万円
国民健康保険歯科診療所事業特別会計	1,500万円	1,500万円	0万円
後期高齢者医療特別会計	9,300万円	9,000万円	300万円
介護保険特別会計	10億9,600万円	10億7,200万円	2,400万円
同和地区住宅新築資金等貸付特別会計	522万円	535万円	△13万円
観光施設事業特別会計	9,200万円	9,800万円	△600万円
特別会計合計	21億922万円	20億4,935万円	5,987万円
合 計	80億2,922万円	81億6,235万円	△1億3,313万円

令和4年度 上水道事業会計予算額 (単位：千円)

科 目	金 額	内 容
収益的収支		
事業収益	264,772	給水収益 151,771, 他会計補助金 24,049 他
事業費用	284,606	減価償却費 164,743, 支払利息等 20,440 他
注) 収益的収支とは、水道料金などの収入と、運営に必要な維持管理費、減価償却費などの支出を表します。		
資本的収支		
資本的収入	42,177	他会計補助金 41,898 他
資本的支出	83,268	建設改良費 2,710, 企業債償還金 79,558 他
注) 資本的収支とは、施設の建設や更新に関する投資的な収入と支出を表します。		

令和4年度 公共下水道事業及び排水処理施設事業会計予算額 (単位：千円)

科 目	金 額	内 容
収益的収支		
事業収益	486,499	下水道使用料 112,931, 補助金 124,732 他
事業費用	482,422	減価償却費 329,564, 支払利息等 27,151 他
資本的収支		
資本的収入	154,106	他会計補助金 141,456 他
資本的支出	284,892	建設改良費 1,050, 企業債償還金 282,842 他

視する町の予算 >

事業に使われます！



18歳未満の国民健康保険税 均等割額の半額を補助！

令和4年度より開始される
未就学児の均等割額の軽減に
合わせ、町独自に6歳以上18
歳未満の被保険者に均等割額
が半額軽減となるよう補助金
が交付されます。補助金額は
(軽減なしの場合の)均等割額
29640円に対し、半額の
14820円となります。



新型コロナウイルスワクチン 接種を速やかに進めます。

新型コロナウイルス感染
症の拡大と重症化を防ぐた
め、新型コロナウイルスワ
クチンの接種を進めます。
令和4年度は12歳以上の3
回目と5歳から11歳、未接
種の町民が対象で、270
0人を想定。4月中には希
望者の接種を完了します。

町内巡回バス運行委託料
5,841万円



路線ごとの利用者数
などを把握して、利用
者のニーズに合ったバ
スダイヤに随時改正す
るなど、新公共交通体
系の利便性と運行効率
の向上への取り組みを
継続していきます。

より便利で快適に町内巡回バス
“ながわごん”を運行します。

非常備消防費
長和町消防団関係費用
4,459万円



消防団員の年額報酬を増額し、出
動手当てを定めました。
長和町消防団員等の報酬及び出勤
に係わる報酬1594万円、退職報
償金掛金480万円、退職金450
万円、分団運営費582万5千円、
軽積載車購入200万円等。消防団
員の定数は、近年の実態から350
人から250人に改めました。

長和町消防団員等の活動を支援、
報酬等を増額し、出勤手当を規定！

直売施設運営経費
駐車場・トイレ改修工事

6,400万円



和田宿ステーションを

改修して、道の駅にします。

令和4年4月1日より新和田トンネルが無料化され、通行量の増加が見込まれます。これに合わせて国道142号の拠点施設である「和田宿ステーション」を「道の駅」化して観光・情報発信の拠点とするため、トイレ及び駐車場の再整備を行います。今年の秋から工事を始め、令和5年春の完成を見込んでいます。

< 議会議員が注

町のお金はこんな

地域おこし協力隊

4人+4人の
活動費と人件費

3,527万円



地域おこし協力隊の人と町を
元気にする活動を支援します。

町には現在4名の地域おこし協力隊が着任しており、空き家の解消や古民家の再生、地域再生に向けたイベントの開催や町の情報発信などに日々活躍しています。令和4年度は、立岩和紙の伝承保存やスポーツを通じた観光力向上にも力を入れます。

特別職人件費3人

4,341万円

議会議員報酬・手当10人

3,119万円

正規職員人件費97人

7億6,127万円

会計年度任用職員
人件費143人

2億3,751万円

行政事務包括業務
委託料84人

2億216万円

長和町を運営するために

必要な人件費を支出します。

公園管理費・施設整備工事

1,505万円



古町「いこの丘公園」を
リノベーション(改良整備)します。

依田窪病院の東に立地する「いこの丘公園」のリノベーション工事を行います。公園の遊具の設置や設備の更新を行い、子どもから高齢者まで誰もが利用しやすい魅力的な公園にします。令和4年度は排水設備や駐車場の整備を、令和5年度には遊具の設置等を行う予定です。

予算特別委員会 令和4年度一般会計予算審査報告

令和4年度長和町一般会計予算を審査する予算特別委員会が、3月8日(火)と9日(水)に開催され、採決の結果、全員賛成で可決すべきものと決定されました。以下に審査の内容を抜粋して掲載します。

予算特別委員会は、2月25日(金)の議会開会日に議員発議により提案され、設置されました。議長と議会選出監査委員を除く8名の議員で構成され、渡辺副議長を委員長として、担当課ごとに順次審査を行いました。



渡辺久人 予算特別委員長

令和4年度 予算

2,470万円

ながと保育園園児送迎用マイクロバスを2台購入します

問 特別仕様など購入価格が割高に思うが、どのような内容か。

答 園児送迎用のバスであるため仕様が複雑であり、需

問 リースでの購入は検討したか。

答 リースでは単年度のコストは低いですが、最終的な額では高額になる。また、今回は起債を使うため、一括で



ながと保育園園児送迎用バス

問 バスを利用している園児は何人か。

答 大門方面が10〜15人、古町方面が30人程である。

3億9,540万円

国保依田窪病院の運営と機器購入にかかる費用を支援します

問 依田窪医療福祉事務組合負担金が、3500万円ほど昨年度より増えているがこの要因は。

答 病院運営計画に基づいて上田市と長和町の負担金として病院から請求が来る。金額は、機器購入などがあり、毎年変動する。しかし、町としても金額が大きいため、病院と強く交渉を行っている。

4,792万円

マイナンバーカードで住民票等を交付できるようにします

問 マイナンバーカードの普及率は。

答 2月末での交付件数は2139件で、住民人口の36.3%である。

問 コンビニ交付サービス事業の利点と普及率に鑑みて事業は見合っていると考えるか。

るか。

答 令和4年度でコンビニ交付システム構築費用の特別交付税措置が終了となることから計上した。各種証明書が町外や開庁時間外でも取得でき、郵送請求の負担軽減にもなる。カード活用の拡充が図れ普及に繋がるなど、費用対効果についても考えた。カード保有率の期限が迫っている、また、コンビニ交付の要望が増えている、窓口業務の緩和などを総合的に判断した。

17万3千円

5月30日の前後の日曜日にボランティア清掃を行います

問 ボランティア清掃の実施について、参加者の確保と実施方法を4月の広報等できちんと周知してほしい。

答 5月30日のごみゼロの日に合わせて、ごみゼロ運動の期間を設けている。その期間中の日曜日、5月29日から6月の第1日曜日のいずれ

れかで検討している。

2,073万円
古町コミュニティ施設の整備は、令和4年8月完了予定です

問 コミュニティ施設は地区の避難場所にもなるが、その収容人数は。

答 旧古町公民館と同程度の人数が収容できる。

問 縦の木福祉会は社会福祉法人であり、施設利用にあたってケーススタディや協定なども考えておく方が良いと思うが。

答 本施設は複合施設でもあり、今後想定される新たな利用事例も考慮した上で調整を進めていく。

問 コミュニティ施設に、児童館や児童クラブとしての役割は考慮されているか。

また、遊具などを再検討する必要があるか。

答 古町コミュニティ施設を児童館・児童クラブとして活用できるか、できるだけ早い段階での実現に向けて

検討していく。

問 令和4年度も町民運動会を開催しないというが、今後のあり方を検討しては。

答 新型コロナウイルス防止の面から「スポーツ講演会」として計画している。町民運動会の今後のあり方については、長和町スポーツ推進



工事が進む古町コミュニティ施設

**一般会計
予算額
59億
2千万円**

委員会や、社会教育委員及び教育委員会の意見を踏まえ方向性を決めていきたいと考えている。

989万3千円
長久保宿本陣の土地建物を購入し、史跡として整備します

問 長久保宿本陣保存整備事業の史跡指定と土地建物購入の範囲は。また、総事業費はどのくらいか。

答 敷地全体が史跡指定の対象で、購入の範囲は門を含めた座敷棟である住宅側の1筆。総事業費は概算で1億円程度を見込む。多額の一般財源を要することから「真田信繁の長女が嫁いだ中山道最古の本陣」という知名度をもって、広く寄付金募集を検討したい。

582万5千円
長和町消防団の活動を支援する分団運営費を支出します

問 消防団分団運営費の額とその配分方法は。

答 分団ごとに一律20万円を当初に支給し、実働団員数に応じて1人当たり13500円を半年ごとの実績により、概算分と精算分で支給する予定である。

263万7千円
自主防災組織の活動補助と、組織化を支援します

問 防災力向上補助金はどのような事業に補助が出るのかわかりにくい。

答 広報にあたっては、町民の皆様が活用しやすいように、具体的な事例を示して周知を図っていきたい。

260万円
女子美術大学と連携したアートによる長和町活性化事業

問 アートによる長和町活性化事業の委託料260万円の詳細は。具体的な計画は決まっているのか。

答 女子美術大学生が長和町に来る際の旅費や宿泊費、

制作に関する調査費、専用HPの管理費、委託料などになる。4月から授業で活動を行い、その成果を長和町総合文化祭で展示・発表する。今年度に引き続きバス停をテーマとする予定である。これまで「ながわごん」のデザイン、認知症サポーター養成講座受講者向けキーホルダーなどのデザイン等を行っている。

27億5,600万円
【歳入】地方交付税は令和3年度とほぼ同じ金額を見込む

問 令和3年度の普通交付税は最終的にいくらになったのか。来年度以降の見通しはどうか。

答 現時点での普通交付税は26億8458万8千円と予算額よりも多く、特別交付税は1億2514万7千円で3月分が今後交付となるため、予算額に近いものと見込んでいる。例年、年末年始にかけて国から傾向が

示されているが、その時の社会情勢等により増減は読めない状況である。

問 この先の財政推計を出してほしい。特にブランシュたかやまスキー場に19億円の辺地債と過疎債を利用することを町の計画に入れないと、財政がどうなるか予想できない。

答 前は平成30年度に財政推計を出しているが、その後、新型コロナウイルス感染症等により思ったように推計等ができなかった。今後、推計を出す方向で検討させて頂きたい。

258万円
毎月平均32ページ
2700部の広報
ながわを発行します

問 広報ながわのロゴを変更するにあたり3作品が示されたが、その選考過程はどうなっているか。

答 広報ながわ200号の企画で、町広報委員会においてロゴ変更のご意見を頂い

た。一般公募も検討したが、女子美術大学と連携していることもあり、同大学にロゴ制作をお願いした。

6,400万円
和宿ステーション
のトイレと駐車場を
改修します

問 道の駅化するための工事期間は。また、指定管理者はどうなるのか。

答 営業に影響が少ない秋以降を想定して進めていく。指定管理者は、観光農林業振興組合が引き続き行う予定である。

問 道の駅になった後の駐車場の維持管理はどこが行うのか。

答 町の単独型で実施するの

令和4年度 予算



(株)マルメロエイトが管理する「マルシェ黒耀」

で、町が管理をする。

問 道の駅化の段取りは。

答 県国道事務所、道路管理課、上田建設事務所と協議をしながら進め、令和5年度の認定を目指す。

問 マルシェ黒耀では、地方創生事業の道の駅活性化推進事業窓口人材コーディネート事業が終了となるが、来年度以降どうなるのか。

答 指定管理者の(株)マルメロエイトに負担して頂く考えだが、詳細についてはJ Aを含め3者で協議する。

2億4,090万円
新会社に管理が移る
ブランシュたかやま
スキー場施設整備費

問 令和4年度の施設等の修繕工事2090万円、施設改修工事2億2千万円は、10年間で38億円の投資計画に含まれたものか。また、最新の投資計画は。

答 2月10日の議会全員協議会で配布した資料が最新の計画である。令和4年度の計画では、修繕、改修工事を含めて税抜2億1974万円となっており、それを精査し予算計上している。

問 今後、ブランシュたかやまスキー場の運営状況及び収支決算等を、速やかに議会に報告して頂くことは可能か。

答 新会社の定款では、事業年度が終了してから3か月以内に株主総会を行うことになっている。6月末には会社の決算が株主総会で承認されるので、その後に報

告できると思う。会社の取締役会で協議頂いて7月以降に報告したい。

2,644万円
長和町振興公社が
2つの温泉施設の運
営管理を行います

問 振興公社が運営する温泉料金の改定を考えていると聞くが、指定管理料の支払いや経営的な判断ではどうなのか。

答 現在、温泉料金検討委員会を設置し様々検討している。値上げありきでなく、現状の指定管理料では温泉施設の営業が立ち行かなくなってしまうのではないかと、観点から、利用者へ自分の負担を求めていくことも含め、委員会で検討している状況である。現状の指定管理料で今後どうしたらいいのか等、営業努力をしながら、料金の改定について議論している。(抜粋)

総務経済常任委員会

委員長／原田 恵召
副委員長／佐藤 恵一
委員／龍野 一幸
小川 純夫
渡辺 久人

総務経済常任委員会が3月11日（金）に開催され、条例案、令和4年度予算案、令和3年度補正予算案等について審査を行い、すべての議案が全員賛成で可決すべきものと決定されました。



原田恵召 委員長

総務経済常任委員会審査報告

長和町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

■ 消防団員の年額報酬の改正と出勤報酬を定めるもの。副本部長の年額報酬を9万円、副分团长5万4千円、班長4万8千円、団員を

3万6500円に。災害時の出勤報酬を日額8千円、訓練出勤を日額2千円にする。

問 副本部長の人数は。

答 5名である。

長和町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

■ 長和町消防団の定員について、活動実態に合わせ、350人から250人に変更する。

問 定数変更に伴って交

付税等への影響は。

答 実人数を基に算定されるため影響はない。

長和町行政手続等における押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

■ 行政手続きの簡素化及び町民の利便性の向上を図るため、行政手続きにおける押印の廃止を進めるもの。

問 押印省略に関し、議

決が必要な関係条例は2件か。

答 押印は規則や要綱などに規定されており、議決が必要となる案件は2件である。

令和4年度長和町公共下水道事業及び排水処理施設事業会計予算について

■ 下水道料金見直し業務委託費823万円。

問 下水道料金見直しはいつ頃行う予定か。

答 令和4年度の委託業務の中で、今後必要となる維持管理費等の費用をシミュレーションし、いつ頃見直しが必要になるか検討する。

■ 業者に委託せずともできるものもあると思うので、経費削減に努めてほしい。

令和3年度長和町一般会計補正予算（第12号）について

既定の予算総額に1046万6千円を追加し、予算総額を65億8755万2千円とする。

■ 町長及び町議会議員選挙費479万3千円の減。

問 ポスター掲示場について、危険な場所に設置されている所や距離が近い場所などがある。検討してほしい。

答 選挙管理委員会に諮り、検討する。

問 初めて選挙公営が町の選挙でも実施されたが、担当者として単価や決算額が高いと感じたか。

答 国の基準を基に単価は設定しており、決算額も高いとは思っていない。

■ 歳入で情報館施設使用料22万円の減。

問 情報館関連で、使用料が入って負担金を支出しているが、どこか

ら入ってどこへ支出しているのか。

答 情報館使用料の内訳は、大判印刷の印刷代と、観光協会にフロアを貸している使用料である。建物全体の管理を商工会が行っている。情報館の電気料等を按分して商工会へ支出している。

■ 除排雪関連経費90万4千円の減。

問 今年には雪が多かったが、除雪費は足りているのか。

答 2月に大雪が降ったことで不足する状況となっているが、予算流用し、不足するようであれば専決で対応したい。（抜粋）



長門水処理センター

社会文教常任委員会審査報告

社会文教常任委員会

委員長／ 田福 光規
副委員長／ 荻野 友一
委員／ 阿部 由紀子
羽田 公夫
森田 公明

社会文教常任委員会が3月10日(木)に開催され、条例案、令和4年度予算案、令和3年度補正予算案等について審査を行い、すべての議案が全員賛成で可決すべきものと決定されました。



田福光規 委員長

令和4年度長和町同和地区住宅新築資金等貸付特別会計予算について

問 諸収入が前年より減額だが、回収できないから減額なのか。

答 滞納金の支払いを約束して頂いている方からの納入を見込んだ。他の方からも徴収できるように努めたい。

令和3年度長和町一般会計補正予算(第12号)について

既定の予算総額に1046万6千円を追加し、予算総額を65億8755万2千円とする。

問 ながと保育園運営経費で、上下水道料40万円減額の理由は。

答 コロナ禍でも、塩素を管理できる4、5歳児が使う大きなプールは毎日使用できたが、3歳以下が利用するビニールプールは塩素消毒ができないので今年度は設営しなかった。

問 現在の滞納金額はおよそいくらか。

答 同和对策特別会計のあり方についても、他の市町村の対応等を踏まえ、検討を行う。滞納額は約6200万円である。

■ 社会福祉総務費の灯油助成金125万円の減額。

問 灯油助成金の予算計上時における対象者の内訳と、現在の申請受付状況は。

答 非課税世帯が900世帯、均等割世帯が250世帯、計1150世帯である。係で把握

している対象世帯1031世帯へ申請書を送付し、892世帯から申請があった。また令和3年1月1日以降転入された方には、申請頂くよう周知に努めている。

■ 緊急通報システム委託料34万8千円の減。

問 緊急通報装置設置事業の委託料が減額になった理由は。また、1件あたりの単価は。

答 令和3年4月の設置台数は45件あったが、現在42件で台数が増えなかった。委託単価は旧通報装置を引き継いだ方は月額820円、新規の方は月額1150円である。これに利用料500円を上乗せした額が業者に入る。

問 通報は1年にどのくらいあるのか。

答 令和2年度末は48台の設置があり、緊急通

報で救急搬送されたのは3件、センサー通報は252件、内1件は死亡であった。

■ 長門小学校改修事業5300万円の増。

問 工事の具体的な説明を。また、交付税参入の充当率は。

答 令和3年度事業の継続で、外壁と屋根の改修を予定している。国の補正予算による事業のため、施設環境改善交付金1333万円を充て、学校施設等整備



改修される長門小学校

事業債の元利償還金の2分の1が交付税参入となる。

■ 児童館運営事業の電気料120万円の減。

問 電気料が大きく減少している説明を。

答 旧和田村老人福祉センターの電気料金は、和田児童クラブ、和いわい、和田グループホームの3施設の電気料を1本で町が支払い、その後、それぞれに使用料を請求し、町の雑入に入れているため。

■ 長門放課後児童クラブの包括業務委託料247万8千円の増。

問 包括業務委託料の増額は、利用児童の数に合わせて職員を増やしたのか。また、合計の委託料はいくらか。

答 職員を増やして対応した。委託料合計は約1400万円である。

(抜粋)

令和4年3月 第1回定例会 審議結果

令和4年長和町議会第1回定例会において審議された議案は、すべて全員賛成で、承認・可決・同意されました。以下に、審議された議案とその主な内容を、抜粋して掲載します。

◇報告（5件）

・議員派遣報告

★長野県町村議会広報研修会。1月11日（火）、長和町役場会議室において、動画配信により視聴。

◇発議（2件）

・ロシアのウクライナ侵攻を強く非難する決議（要旨）

★本年2月、ロシアがウクライナに軍事侵攻したことに伴い、民間人を含む死傷者が発生し、多くの人々が避難を余儀なくされ、国際社会から非難の声が上がっている。

これまで、平和的な解決に向けた努力が続けられてきたにもかかわらず、ロシアが軍事侵攻に踏み切ったことは、国際秩序の根幹を揺るがすものであり、断じて受け入れられるものではない。

今回の侵攻はウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国際法違反であり、社会経済面においては、我が国をはじめ世界各国の国民生活や企業活動に影響が及ぶことが懸念される。

よって、長和町議会は、ロシアに対し、ウクライナ侵攻を強く非難するとともに、直ちに侵攻を中止し、事態の打開に努めるよう強く求める。

◇条例案（9件）

・長和町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

★国民健康保険事業の県統一化に向けて、令和9年度まで段階的に保険税率の改正を行っていく。
保険税の課税割合のうち、資産割を順次削減して、所得割等に振り向ける。

・長和町姫木平自然の家条例の制定について

★これまで八王子市の施設として利用されてきた「姫木平自然の家」が、八王子市から長和町に譲渡されることになり、3月4日に八王子市議会において施設の廃止条例が可決された。これを受け、令和4年4月から長和町の宿泊施設として運営するため、設置に係る条例を制定する。

名称は「長和町姫木平自然の家」、指定管理により運営する。

◇平成4年度 予算案（10件）

☆2～9ページに質疑、審査・審議結果を掲載。

◇平成3年度 補正予算案（9件）

・令和3年度 長和町一般会計補正予算（第13号）について

★既定の歳入歳出予算の総額に1,940万円を追加し、予算の総額を66億695万2千円とするもの。
財政調整基金から繰り入れ、長期債元利償還金として支出する。

◇指定管理者の指定について（4件）

・長和町特産物直売所（和田宿ステーション）

★「和田宿ステーション観光農林業振興組合」に、令和4年4月1日から3年間。

・ブランシュたかやまスキー場／長和町ふるさとセンター／長和町姫木平自然の家

★「株式会社マウント長和」に、令和4年4月1日から5年間。

◇その他案（2件）

・辺地に係る総合整備計画の策定について

★ブランシュたかやまスキー場を中心とする観光リクリエーション施設を整備するため、辺地に係る総合整備計画を策定する。これにより、辺地債を活用することができる。

◇人事案（2件）

・長和町和田財産区管理会の委員の選任／長和町農業委員会の委員の任命（同意）

1, 原田 恵召 議員 …………… P.13

- (1) ブランシュたかやまスキー場について
- (2) 林道・作業道の管理について
- (3) コロナ対策について

2, 渡辺 久人 議員 …………… P.14

- (1) 羽田町長の公約と新年度予算について
- (2) 「ヤングケアラー」町の対応について

3, 荻野 友一 議員 …………… P.15

- (1) ブランシュたかやまスキー場と新会社設立について

4, 佐藤 恵一 議員 …………… P.16

- (1) 自主防災組織の現状と今後の施策について
- (2) 町内設置AED（自動体外式除細動器）について

5, 阿部 由紀子 議員 …………… P.17

- (1) ふれあい館の利用状況について
- (2) 旧和田中学校の活用方法について
- (3) 災害時の物資調達と、ペット連れ避難について
- (4) 保育園のオムツ持ち帰りシステムについて

6, 羽田 公夫 議員 …………… P.18

- (1) 安心・安全な町づくりについて
- (2) 教育環境のあり方について

7, 田福 光規 議員 …………… P.19

- (1) 「ブランシュたかやまスキー場」の公設民営化について
- (2) 当町の「新型コロナウイルス感染症」への対応について

8, 龍野 一幸 議員 …………… P.20

- (1) 空き家について
- (2) 依田窪病院について

質一般問

8人の議員が町政を問う！

3月定例会では、3月3日（木）4日（金）に一般質問が行われ、8人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。
「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。



原田 恵召
議員

ブランシュたかやまスキー場について

町民からも出資を募ったのはなぜか

地域創生のため幅広く支えて頂きたい

問 なぜ、町民にも出資を募って新会社をつくるような状況になったのか。

答 産業振興課長 令和2年

3月から実施しているスキー場あり方検討委員会において、令和元年度に町で策定した「スキー場経営戦略」に関して、令和元年当時で35年を経過したスキー場の各施設の老朽化により大規模な修繕が必要であること、現在の施設を維持しながら運営をしていくにあたり施設修繕のほか指定管理料も支払い続ける必要があること等が示された。

この状況をこのまま続けていくと先々立ち行かなくなってしまうのではないかと懸念される中、スキー場

存続を前提に、スキー場の今後の経営について専門的に協議する「専門部会」を令和2年4月の検討委員会において設置した。

専門部会では、実績を持つコンサルタントをチームリーダーとして協議を重ねて、令和2年9月の検討委員会では中間報告をし、「現行の指定管理方式」・「新たな公設民営」・「町直営」・「民間売却」の4つのケースを検討し、「新たな公設民営」が望ましい、との結論を出した。

新会社への出資依頼等についての基本方針によれば新会社がスキー場経営を円滑に行うためには、「当面及び将来のリゾート経営の

受益者」「経営責任者及びその関係者」「施設設備の所有者」「事業への賛同者・共感者」などに幅広く支えていただくことが必要であ

り、地域創生を目的とした新会社は特定の資本に左右されず、健全経営に向けて独自の判断や決定ができることが重要であると考えら

れる。このため出資が一部に集中することを避け、ある程度多くの関係者からの出資をお願いすることとしたものである。
(抜粋)



ブランシュたかやまスキー場



渡辺 久人
議員

羽田町長の公約と新年度予算について

羽田町長の公約と予算編成について

段階を踏みながら進めていきたい

問 町長が公約に示す、①新

型コロナウイルス感染症に対応した施策を行う、②災害に負けない環境づくりを進める、③「共助」に注力し各自治会に補助をする、という事業は、それぞれのよう

に実施していくのか。また、令和4年度当初予算にどれ程計上されたのか。

答 町長 ①ワクチン接種を

確実に進めてコロナウイルス対策に万全を期するため、ワクチン接種にかかる令和4年度予算額は318万9千円を計上。②小さな災害のうちに修理改修を行って大きな災害を防ぐ。令和4年度における災害復旧事業は、林業施設災害復旧事業で8箇所3230万3千



ボランティアの皆さんと いきいきサロン、

問 長和町では、長和町社会

福祉協議会を中心に様々なボランティア活動を行っている。支え合いサポート事業、また、昨年末には災害ボランティアの募集も行われた。実際に活動されているボランティアは高齢となり少なくなってきたという反面、利用者は増加、若い世代のボランティアは集まらない。今後「支え合いの地域づくり」をどのように進めていく計画なのか。

答 町民福祉課長 ボランティア活動は個人の自主的な活動でもあることから、なかなか集まらないのが現状である。課題の共有やその解決のため地域の方と一緒に考える場を設けるとともに、ボランティアの育成や

活動の充実に向け、社会福祉協議会と協力して「支え

合いの地域づくり」を進めたいと考えている。

ヤングケアラー支援の取り組みは

まずは早期発見、状況把握に努める

問 早急に取り組むべき課題

は、早期発見と実態把握と考える。国が発表した実態調査結果では、中学2年生

の17人に1人の該当者があるという。このことから長和町でも調査を行い、支援策を作成する必要があると考えるが、どのように取り組んでいく考えか。

答 町長 まずは、実態調査

に基づき、早期発見・状況把握に努め、対象となる児童・生徒がいる場合に備えて、関係職員を研修会等に

★ 語句解説 ★

問 ヤングケアラーとは。

答 障がいや病気がある、幼い、目が離せない等々の要因で世話が必要な家族のために、大人が担うべき責任を引き受け、家事や家族の世話、介護や育児など家族のサポートを日常的に行っている18歳未満の子どもをいう。



荻野 友一
議員

フランシュたかやまスキー場と新会社設立について

たかやまスキー場と新会社について 地域産業全体を牽引する存在である

問 フランシュたかやまスキー場は、長和町の観光業における産業振興にどう関わり、どのように発展していくと町は考えているか。

答 町長 たかやまスキー場は昭和60年の開設以来、町の冬の基幹産業として140億円の外貨を稼ぎ、その内50億円は地元雇用として還元され、消費を生み地域産業をけん引してきた。今回、公設民営の新会社により、民間活力を結集し、地域創生、雇用の創出、地域観光の推進役を務め、ビーナエリア地域のスキー場をけん引し、インバウンドを取り込みながら発展していく存在であると考えている。

問 新会社設立を選んだ経緯として、今までの振興公社の問題点と新会社による問題の解決方法は。

答 産業振興課長 現行の振興公社も「公設民営」だが、町が株式を98%所有し、資産管理が町と公社の間で曖昧になっているなど、明確な「公設民営」の形態ではなかった。新会社については健全な「公設民営」を進めるため、施設設備に係る部分は町が担い、施設の運営を新会社が担うことにより、適正な運営が図られるものと考えている。

問 健全な形の公設民営とは、一般企業における設備投資を町が、運営と資金管理を新会社が行うことと捉

えてよいのか。

答 産業振興課長 公設民営による経営では、設備・資産を町が所有し、会社はそれを借り受け「施設使用料」を町へ支払う。町が施設を保有し整備することにより国の補助金や有利な起債が得られることは、民間になり大きなメリットとなる。また、会社は運営に注力することで、常に先を見据えた経営をすることができるようになる。

問 補助金や起債を利用してスキー場の整備を進めることになるが、起債の返済はどうなるのか。

答 産業振興課長 起債の元利償還金について、過疎債の場合は70%、辺地債の場合

は80%が地方交付税で措置される。それぞれ残りの30%、20%については、会社が「施設使用料」として町に納入する。実質、町の一般財源は支出しない。

問 新会社の10か年計画において多額の投資が示されているが、有利な補助金や起債が得られない場合は計画を見直すのか。

答 産業振興課長 有利な起債にも上限があり、国庫補助の獲得も確実でない中、状況に応じ事業の先送りなどの見直しを行う。

問 現在、観光産業にとってコロナ禍の大変な時期であるが、スキー人口の減少などの問題も踏まえ、どのような誘客の施策が新会社

から提示されているか。

答 産業振興課長 効率的な設備投資を前提に、質の高いサービスを提供、国内需要の掘り起こしと夏場の利用、ビナスラインエリアの事業者との連携によるインバウンドの取り込み等が提示されている。

スキー客の多様なニーズに応えられるスキー場をつくり、雪の遊園地、学校団体向けのトレセン事業への取り組み、夏リフトを活用した山岳トレッキング、日本遺産遺跡体験、農業・畜産業・林業体験、中山道、和紙の伝承文化体験等、各種体験型観光地として誘客を図り、活性化していきたい。

(抜粋)



佐藤 恵一
議員

自主防災組織の現状と今後の施策について

自主防災組織の活性化策は

防災力向上補助金を新たに検討する

問 町長公約の自主防災組織づくりの促進について、町内86区中37区で組織が設立されていないが、組織化が進まない要因とその解決策は。

答 総務課長 「防災力向上補助金」を新たに検討しており、自主防災組織の設立やその後の活動等に活用して頂き、活性化に繋がってきたい。また、活動手引書等を作成し、設立後のフォローも行っていく。

答 総務課長 防災関係に精通したリーダーの不在、高齢化、人口減少による人員不足など様々な要因が考えられる。人数の少ない区に関しては自治会や近隣の区と共同での立上げも視野に入れ、行政としても間に入って設立が進むよう対応していきたい。

問 組織の状況に応じた活性化策等に関する会議の開催や、行政の担当者が直接各組織に足を運んで話し合うなどにも必要ではないか。

答 総務課長 「災害福祉力ンタンマップ」というデジタルマップの導入を予定している。自主防災組織など地区の皆様にもご協力頂きながら個別計画を作成していきたい。

問 自主防災組織での活動の場合、公務災害補償は適用

答 総務課長 「防災力向上補助金」を新たに検討しており、自主防災組織の設立やその後の活動等に活用して頂き、活性化に繋がってきたい。また、活動手引書等を作成し、設立後のフォローも行っていく。

問 災害時避難行動支援者に対し、関連組織と連携した個別計画の作成は行われているのか。

答 総務課長 「災害福祉力ンタンマップ」というデジタルマップの導入を予定している。自主防災組織など地区の皆様にもご協力頂きながら個別計画を作成していきたい。

されるか。

答 総務課長 長和町消防団員等公務災害補償制度により、事案ごとの対応だが公務災害補償の対象となる。

問 平時の活動において、例えば防災・防水のための水路側溝清掃等における怪我

などに「住民活動保険」等の検討はできないか。

答 総務課長 令和4年度より「自治体活動保険」に加入する。区や自治会として行った活動に対して、事案ごとの対応とはなるが怪我等を補償する保険である。

小学校の救命救急講習の実施状況は

毎年、全職員と保護者を対象に実施

問 町教育委員会では、さいたま市の「ASUKAモデル」のような救急救命指針



を持つているか。また、AEDの使用方法等の一次救命処置に関する知識や技術を習得する訓練を行って日々の危機管理体制を構築しているか。

答 教育課長 小学校における救命救急講習についてはAEDの使用方法和心肺蘇

生法の講習を、毎年、依田窪南部消防署に講師を依頼し、全職員と保護者を対象に実施している。

問 AEDの適正配置、および住民における一次救命処置訓練の必要性は。

答 総務課長 広域消防本部と連携し、救急救命講習による知識習得を呼び掛けた。また、夜間や休日などに近隣の皆さんが使えるよう、公共施設内に設置しているAEDの屋外への切り替えを検討するとともに、コンビニなどの協定締結や消防署から離れた地域への配置なども検討していきたい。



ASUKA
モデル

(抜粋)



阿部 由紀子
議員

旧和田中学校の活用方法について

旧和田中学校舎の今後の活用方針は

国の登録文化財に申請する予定である

問 廃校になった旧和田中学校の活用アイデアを、平成30～31年にかけて募集した経緯があるが、応募したいくつかのグループや個人から「その後どうなったのか」という声をいただいている。今現在、旧和田中学校の利用状況はどうなっているのか。

答 町長 募集では、町内外の20名の方から28件の様々なアイデアの応募があった。いくつかの団体との個別懇談を行ったがまだ具体化には至っておらず、また、事業者からの応募はなかった。現在は地域の団体や町民手づくり事業団体による陶芸教室やライトアップによる花見、観光協会の単発

のコスプレ事業、和田コミュニティスクールのイベント、農産物の乾燥、小学校のマラソンコースなどに利用されている。また、映画などの撮影にも利用されるケースもある。

問 今後、有効に活用されているのか。

今後、有効に活用されている。

避難時の高齢者や女性のための備蓄も

必要な物資の備蓄を進めていく

問 12月議会的一般質問で、災害時の乳幼児のミルクやオムツの備蓄について答弁を頂いた。加えてお年寄りの紙オムツや女性の生理ナプキンなどの備蓄も併せてお願いしたいがどうか。

答 町長 住民の皆さんの避難に際しての不安を少しでも取り除けるよう、必要な物資の備蓄を進めていきたいと考える。

問 町ではペットとの同伴避難への対応はどう考えているか。また今後、ペット連れて避難するためのガイドラインの作成など、町としてできる対策はあるか。

答 町長 町の避難マニュアルにペットの避難スペースの確保が記載されている。今後は、避難方法や準備などの広報を行い周知を計っていききたい。

問 現在、保育園でオムツを使っている子どもは、使用済みのオムツを自分のバケツやビニール袋に入れて毎日持ち帰っている。コロナなどのウイルス感染リスクや胃腸炎、保育士の手間や健康を考えても、この持ち帰りシステムを廃止した方が良いと思うがどうか。

オムツ持ち帰りシステムの廃止をいくつかの問題があるが、研究していく

答 町長 町は、避難方法や準備などの広報を行い周知を計っていききたい。

問 現在、保育園でオムツを使っている子どもは、使用済みのオムツを自分のバケツやビニール袋に入れて毎日持ち帰っている。コロナなどのウイルス感染リスクや胃腸炎、保育士の手間や健康を考えても、この持ち帰りシステムを廃止した方が良いと思うがどうか。

答 町長 町は、避難方法や準備などの広報を行い周知を計っていききたい。



バケツとオムツ



羽田 公夫
議員

安心・安全な町づくりについて

「災害時応援協定」はどこと結んでいるか

建設業協会や中部電力など23団体と締結

問 予期せぬ災害時に、町民の安心・安全を確保するための「災害時応援協定」を、

どんな企業や他の自治体等との間で結んでいるのか。

答 **総務課長** 災害時の道路や水路の応急対応や応援協力に関しては、長和町建設業協会や県建設業協会上小支部、上小森林組合等と合計7件の協定を締結している。ライフライン維持のため中部電力やLPガス協会、N.T.T.等と7件。食料や生活物資の提供に関する協定を信州うえだ農協やグループながのと2件。他の自治体との応援協定は、長野県や下諏訪町、目黒区と3件。その他、要配慮者の受け入れで依田窪福祉会やF

Mとうみと4件、合計23件の協定を締結しています。

問 令和3年8月の豪雨で、上組・三開戸橋下流の土手が40mに渡り決壊した。結果、約4千万円の経費がかかり、令和4年2月に改修工事は終了した。ここは、令和元年の19号台風で土手の石が抜け落ち、流れも変わり、危険が予見できた場

所であった。このような場合は災害復旧に特化した条例や規約で修繕できなかったのか。また、ふるさと納税の活用はできないのか。

答 **建設水道課長** 河川法第9条1項により一級河川の管理は国土交通大臣が行うとされ、現在長野県上田建設事務所が維持管理している。被災個所については、上田建設事務所へその都度要望をしているが、工事現場が多く作業員も予算も回らないのが実情である。わずかな工事でも、国・県の管理下にあり、町としては粘り強く「要望」することしかできない。ふるさと納税の活用は、「復興支援寄付」ということで530万円程

中学通学バス補助金打ち切りへの対策は

これまでと同じ便数を確保する

ご支援を頂いた。この内500万円を、令和2年度の

災害復旧費の財源として使用した。

問 和田中と南部中の統合にあたり、国から5年間通学バスの補助金350万円が出ているが、今年度限りで打ち切りとなる。その対策はどう考えているか。

答 **教育課長** 「へき地児童生徒援助費等補助金」は学校統合に伴う遠距離通学補助として5年間の期限があり、令和3年度で終了となる。生徒の授業や部活動に支障が出ないよう、今まで通り登下校時に各2便の通学バスを運行していく。

答 **教育長** 2年生も3名で1年生と合わせて6名であることから、1年生と2年生が複式学級となる。長野県では国の基準より手厚く教員を配置しているが、隣り合う学年合計で8名以下では学年ごとの配置にはならず、2学年合わせて1名の教員配置となる。(抜粋)



復旧した和田上組の堤防

はどうか。



田福 光規
議員

「ブランシュたかやまスキー場」の公設民営化について

補助金頼みの計画で、甘すぎるのでは

補助金獲得に注力しつつ、他の手段も模索

問 今後5年間の投資計画

に対応する「総合整備計画書」では、事業費の半額を補助金で確保する計画で、来年度の投資計画は2億1900万円。内訳は国庫補助金1億1千万円、辺地債1億1千万円である。補助金が確保できなければ、事業が先送りになると同時にすべての事業を辺地債で実施することになり、5年間の総事業費31億7900万円の20%、6億3580万円の元利償還金を、新会社は施設利用料として町に支払うことになる。これを回避するためには補助金の獲得が必須だが、今年度不採択になったことを見ても、補助金頼みの計画であり甘

すぎるのではないか。

答 産業振興課長 有利な起

債にも上限があり、国庫補助の獲得も確実でない中、その都度事業の見直しや経営改善等を行い、経営の健全化を図ることが必要であると考え。現在国庫補助

である観光庁の「国際競争

力の高いスノーリゾート形成事業」を計画しており、この補助金の獲得に注力するとともに、有利な起債の活用に加え、他の補助金の研究や他の手段を模索できればと考えている。

議会へ、毎年の経営報告の実施を

決算承認後に実施できるよう協議する

問 議会は、スキー場の経営

状況に問題があれば投資計画中止の判断ができるだけの情報を把握しておく必要がある。「(株)マウント長和」は一般の会社であるが、「公設民営」の重要性を考慮し、年1〜2回の議会への経営報告を要望する。

答 産業振興課長 「(株)マウ

ント長和」は98%町出資の振興公社とは異なる。会社法では、株主の権利として、町は「会計帳簿類の閲覧」が認められているが、株主でないものには認められない。また、情報を知り得る株主が第三者に報告等をす

問 「可能な範囲内」という内容と時期は、どのような

に考えているか。

答 産業振興課長 新会社の

事業年度は4月1日から翌年の3月31日までである。

決算等を議決する株主総会は、6月末日までには開催され、決算等が承認されることになる。

承認された決算の議会への説明については、新会社の取締役会及び株主の皆様と、説明内容や説明時期について協議させて頂きたいと考えている。(抜粋)



ブランシュたかやまスキー場



幸一 龍野
議員

空き家について

住環境向上に向け、空き家対策に助成は

対策計画を策定し、適切に対応していく

問 令和3年度中に、危険空き家含む空き家の最新数値をまとめることとあったが、最新数値は把握されたか。

答 町長 地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全、空き家等の活用に向けた対策が必要であると認識しており、空き家対策を総合的かつ計画的に進めるため、有識者を交え「長和町空き家等対策計画」の策定を進めている。

答 建設水道課長 直営別荘地の空き家数は36棟。うち危険家は学者村別荘地で6棟、美し松ハイランド別荘地で2棟である。

答 町民福祉課長 一般空き家数は470棟で、平成25

年の調査から32棟減少している。危険空き家数については、令和4年度に空き家等対策協議会において審査し公表する予定である。

問 当町で、国の特措法に基づいた町長の命令、代執行、固定資産税を6倍にした等の事例はあるか。

答 町民福祉課長 空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づいた立ち入り、命令、代執行及び固定資産税の住宅用地特例の対象からの除外などは無い。長和町空き家等の適正管理に関する条例に基づいて代執行を行ったケースは平成24年度に1件ある。

問 空き家バンク公開から22年1月までの登録数と購入

数、当初からの未売却物件数は。また、残存物件に対して町は定期的な確認をしているか。

答 企画財政課長 登録が40棟、購入が21棟。当初の登録から売却等されず残っている物件は14棟ある。空き家バンクへの登録後も管理は所有者であるため、町では定期的な確認等は一切していない。

問 特定空き家の所有者及び全町民に対し、住環境向上のため、町で助成をすることは考えられないか。

答 町長 人口減少と高齢化に加え、転出者の地元帰率の減少等の社会的な背景もあり、空き家のさらなる増加が予想されるが「長和

町空き家等対策計画」に基づき、協議会とも連携をとりながら適切な対策を講じていく。特定空き家については助言若しくは指導又は勧告を行い、必要であれば助成を行っていく。

答 企画財政課長 町内に住む方については、現在お住まいの家を対象として、1物件1回限りの条件だが、産業振興課で所管する「住まい快適助成金制度」をご活用頂きたい。

依田窪病院をどのような病院にするのか

住民に寄り添った医療体制の継続を目指す

問 依田窪病院も公立病院等統廃合の対象施設に揚げられている。町として病院への繰出金をどう活用し、どのような病院にしたいと考えているのか。

答 町長 病院への負担金のうち約5割は交付税で措置され、地域医療の確保・充実のため、安定した医療提

供を堅持していくための資金である。依田窪病院はこの地域で最も身近な医療機関であり、医療の維持向上と、住民に寄り添った医療体制の継続を目指し、永く存続できるように、町としても最大限の協力を続けていく。
(抜粋)

【議会だよりモニターの視点】(アンケートから抜粋)

第2期議会だよりモニターの皆様と さらに「議会だより」を改善します。

- 急に横書きになって違和感を感じる。
- 文章だけだと読む気がしなくなる。
- 問題点や課題について、議会の視点で載せてほしい。

〈審議結果〉



2月2日(水)、8日(火)に「第2期議会だよりモニター委嘱式」を議場において開催し、18名の町民の皆様へ「議会だよりモニター」をお願いしました。任期は令和5年1月31日までの1年間で、早速、第65号からたくさんのご意見を頂きました。



〈常任委員会〉

- 問と答が散らばり、まとまりがない。
- グラフ化してもいいのでは。
- 一覧にして、興味を引いた件をネット検索できるようにしては。

- 面白いページではないが、必要なページだと思う。
- 振り仮名があるとありがたい。
- 今の気持ちを忘れず期待に応えてほしい。

〈初議会〉



〈表紙〉

- 「表紙の人」として氏名が明記されているので役職等わかりやすい。
- インターネット上で議会だよりが読めるようにSNSを活用しては。



〈モニター会議〉

- 皆さんの意見で議会だよりが変わっていき、読むのが楽しみになった。
- このような「町の人の声」が読みたい。
- 意見を吹き出しにするなど工夫を。

- 協力隊の人の活動が理解できた。
- 写真を大きくして顔がわかるように。
- 協力隊の説明記事が丁寧でよかった。
- 表を活用するのはどうか。

〈議会懇談会〉



〈一般質問〉

- よく考えられたレイアウトで、読みやすい。小見出しがよい。
- 語句解説の見出しは「ゆるい」方がよい。
- 一般的にはこのボリュームで十分です。

依田窪医療福祉事務組合議会報告

3月14日(月)に、依田窪医療福祉事務組合令和4年3月第1回定例会が開催されました。令和4年度予算案5件、令和3年度補正予算案3件について審議し、採決の結果、すべて全員賛成で可決されました。

(23ページに予算資料等を掲載)令和3年度は、病院の最優先課題であった医師確保の取り組みが実りつつあり、4月より常勤の内科医師が1名増え、内科医師6名と整形外科医5名、外科医1名の常勤体制で診察が行われてきた。また、小児科医師に勤務頂いて、患者数も増え、地域の乳幼児健診や保育園、小学校の校医の役も担って頂いている。

老人保健施設「いこい」の施設長石橋久夫先生が令和4年3月で退任され、議会終了後に退任式が行われました。

石橋先生は、昭和60年より依田窪病院外科医師として勤務され、介護保険制度が始まった平成14年からは依田窪老人保健施設いこい

上田市長和町中学校組合議会報告

3月14日(月)に、中学校組合議会令和4年3月第1回定例会が開催されました。令和4年度予算案、令和3年度補正予算案について審議し、採決の結果、全員賛成で可決されました。

令和3年度上田市長和町中学校組合一般会計補正予算(第2号)予算の総額を1010万円減額し1億2294万1千円とする。教育費で、会計年度任用職員1名の減等により980万円の減。

(報告…田福光規議員)

令和4年度 中学校組合一般会計予算(単位:千円)

会 計	令和4年度	比較増減
議会費	175	0
総務費	951	△ 2,016
総務管理費		
監査委員費	49	0
教育費	10,646	373
教育総務費		
中学校費	96,024	△ 9,007
公債費	14,125	1,940
予備費	1,230	△ 90
合計	123,200	△ 8,800

上田地域広域連合議会報告

令和4年2月28日(月)、3月2日(水)、上田地域広域連合議会2月定例会が開催され、条例の一部改正、令和3年度補正予算、令和4年度一般会計及び特別会計予算について審議が行われ、全ての議案が全員賛成で可決されました。

冒頭、連合長挨拶で「最重要課題である資源循環型施設建設について、積極的に取り組んでまいりたい」と力強い発言がありました。

(報告…渡辺久人議員)

令和4年度 上田地域広域連合予算(単位:千円)

会 計	令和4年度	前年比増減
一般会計	2,099,014	40,678
(保健衛生費:医療関連)	113,655	△ 9,188
(依田窪斎場費)	40,233	2,364
(丸子クリーンセンター費)	294,764	14,150
ふるさと基金特別会計	107,017	5,625
介護保険特別会計	224,975	5,148
消防特別会計	2,534,308	36,965
合 計	4,965,314	88,416
長和町負担金	239,397	17,811

★表紙写真の説明★

〈永代人馬施行所(和田・接待)〉
国道142号男女倉口から、車で旧道を、または徒歩で旧中山道を、約1.5km進んだ和田峠までの途中に、草葺寄棟造の民家「永代人馬施行所」があります。



を知るができます。

中山道施行所は、江戸の豪商が中山道の旅の難儀を助けようと金千両を幕府に寄付、幕府がその金の利子百両を二分して碓氷峠の坂本宿と和田宿に下付し、文政11年(1828年)に設置されました。11月から3月まで、峠を越える旅人に粥とたき火を、牛馬には年中桶一杯の煮麦を施行。その後山抜けにより流失したが再建され、明治3年まで続けられました。



の施設長として、長年、長和町と依田窪地域の医療や介護環境の充実に献身してこられました。これまでの多大なご貢献に感謝し、益々のご活躍をお祈り致します。

(報告：羽田公夫議員)

□ 石橋久夫先生の退任式／院長、理事者、医療福祉事務組合議会議員

令和4年度 依田窪病院業務予定量 (計画量)

病床数	131 床	
年間患者数	外来	62,208 人
	入院	40,150 人
平均患者数／日	外来	256 人
	入院	110 人
和田診療所	年間患者数	1,924 人
	平均患者数／日	13 人

令和4年度 組織市町負担金 (単位：千円)

	長和町	上田市	合計
金額	395,014	216,685	611,6998
負担割合	64%	36%	100%

令和4年度 医療福祉事務組合関係予算 (単位：千円)

会 計	令和4年度	令和3年度	比較増減
一般会計	242	242	0
病院 事業収支	3,315,492	3,104,024	211,468
病院 資本的支出*	544,555	783,619	△239,064
老人保健施設	557,968	557,900	680
訪問看護ステーション	53,785	50,045	3,740
居宅介護支援事業所	33,302	27,131	6,171

*資本的支出とは、将来の病院経営活動に備えて行う建設改良及びそれに係る企業債償還金などの支出をいう。

森田議長のご議会概説(5)

●12月議会から新しい議員が加わって一般質問も活発になり、これまでになく新たな視点での討論や意見も出るのではと期待しています。●議会だよりモニターアンケートでも、議会や町に対する疑問や質問が出されています。その問いにもこころみせず答えていきまます。

問「議席番号って何？」

答 本会議場で議会議員が座る席を議席といい、初議会で議長が定めます。番号順は議会によって異なり、長和町議会では当選回数が少ない議員から、年齢が若い順に1番から定め、副議長を9番、議長を10番とすることが慣例です。議席には議席番号と議員名を入れた標柱があり、出席時は標柱を立てます。



議席の標柱

問「一般質問って何？」

答 委員会等での質疑は、議題となる議案について説明が不足する事項等について疑問点を質すること。一般質問は、町政全般に渡って町の方針や町長の考え、事業の現状や見通しなどについて問い質すもので、議員から提言をすることもでき、議員が議題と論点を決められるものです。年4回の定例会で行われ、質問時間は議員の質問と行政の答弁を合わせて60分以内です。次回からは、本会議と委員会について概説します。

マチイロ
マチを好きになるアプリ



■マチイロアプリを入れると、スマホやタブレットでながわまち議会だよりを見ることが出来ます。

長和町 あの人を訪ねて

— 第12回 —



なんこう はな
南河 花さん
(姫木第一)



略歴・活動

1969年生まれ関西出身。情報誌・広告制作の仕事に就き、大阪・東京・神戸・金沢・横浜・西宮と様々な街で暮らす。秋の風景にひと目惚れして長和町民に。2006年～家族で営む宿で料理全般担当。厨房にいるか読書をしていればご機嫌。

広報常任委員会が町民の皆さまを訪ねて、意見や活動をお聞きします。

問 宿の仕事に就いたきっかけはなんですか。

答 宿屋の夫との結婚です。もともと食えることが好きで、多忙な仕事生活でもご飯は絶対ちゃんと食べたいタイプ。料理をする時間が息抜きでした。「いつか小さな食堂を」という夢を持って少しずつ勉強していたので、すんなり転職できました。前職とは全くの畑違いのようですが『どんな人に何をどんな風に伝えるか』という考え方の基本は、宿泊業でも、そのまま活かされています。学生時代のペ

ンション居候経験も強みになっています。

問 宿の食事を作る中で感じていることは。

答 滞在時間が長く朝夕2回であることが、一般の飲食店との違いです。旅の目的はレジャー、スポーツ、休養など人それぞれ。ご希望や条件に合わせ、食べ易さや消化のことも考えて地元食材の提供を心掛けています。移住して、水の美味しさ野菜の新鮮さ、野生食材の豊富さに驚き、この土地独特の知識や技術を持つ方々に出逢いました。そうい

う生産者や商工さまさまざまな分野の方との繋りを活かして、長和町の魅力が伝わる料理おもてなしをと考えています。都会暮らしの人には果樹が連なる風景も山菜も狩猟も草刈りも除雪も軽トララックさえも非日常！私自身、移住者だからこそその視点や感覚が錆びないように「それ何？教えてください」という姿勢で在り続けたいです。

今後の課題は。

答 子育て一段落を機に、夢であつた食堂を宿の一部門として始めました。非日常を意識した宿の食事とは逆に日常のご飯がコンセプト。賄いや家族のお弁当を食べたいというお客様や友人の声が後押ししてくれました。町内でも足を運んだことのない人が多い姫木平。数十分のドライブで小旅行気分を味わえます。気分転換やひとり時間、大切な人との時間を過ごしに、近隣の方がふらりと訪れる場所にしたいです。

長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の考えなどを掲載しています。第66号は、**阿部由紀子**議員です。

▼昨年12月より町議会議員となりました新米議員の阿部です。一般質問の準備や議会の通知などと共に来る資料の山に目を回しながらも日々奮闘している毎日です。▼この度、広

報常任委員会の副委員長となりました。これまで、「議会だより」にたまに目を通すくらいで、内容が難しく分かりづらいと感じていました。ですので、「私みたいな誰か」にも伝わるような「議会だより」になるように取り組んでいきます。▼堅苦しく感じてしまう内容もすべて私たちの暮らしそのもの。政治は自分たちの暮らしそのものなのだと気づいた今、「議会だより」を通してぜひ町の事に関心を持って知っていただけたら嬉しいのです。よろしくお願いします。

ながわまち 議会だより

広報常任委員会

委員長 佐藤 恵一
委員 阿部由紀子
田福 光規
原田 恵召
渡辺 久人
編集 森田 公明